

平成 26 年度

最終評価

「運営に関する計画・自己評価」

大阪市立西中学校

平成 27 年 3 月

大阪市立西中学校 平成 26 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

平成 26 年度 学校教育目標

すべての生徒に確かな学力と健康・体力を身につけさせるとともに、豊かな人間性や創造性を育む教育活動を推進する。

1. 学校運営の中期目標

現状と課題

学力面でみると、平成 25 年度の「全国学力・学習状況調査」では、国語 A・B、数学 A・B とも、全国平均を下回っているが、前年度調査より、すべてにわたって差が約 2~10P 縮まっており、これまでの学力向上に向けた各取り組みの成果が表れつつある。

授業の内容の理解については、国語・数学とも 7~8 割の生徒が肯定的な回答をしているが、教科の授業を担当している 25 名の教員のうち、経験 10 年未満の教員が 13 名と半数を超えており、さらに授業力や指導力の向上を図っていく必要がある。

家庭での学習については、平日 1 時間未満の生徒が約 4 割いるとともに、自分で計画を立て勉強することについては、半数を超える生徒が否定的な回答をしており、自主的な学習の習慣化・定着を図ることが大きな課題である。

また、読書に関しては、普段まったく読書をしないという生徒が 5 割強いる。読書が嫌いと回答した生徒が 3 割弱おり、読書意欲の醸成、読書習慣の形成についても課題である。

学校全体としては、落ち着いた状況で安定した教育活動が実践されており、「いじめを許さない」といった心情については、全国平均を上回っており確実に醸成されている。しかしながら、自尊感情の形成については、普段の学校生活の様子と齟齬のある結果となっており、大半の生徒が学校で友達に会うのが楽しいと肯定的な回答をしていること等を基盤として、あらゆる教育活動を通して、「できる喜び」や「達成感」を味わせる必要がある。さらに、学校・家庭・地域の連携を強化し、体験的な活動を通じて豊かな感性や情操をはぐくみ、人間としてのあり方や生き方を考えることができるよう取り組みを進めていく必要もある。

中期目標

【視点 学力の向上】

- ① 「全国学力・学習状況調査」における無回答率を平成 24 年度より 10P 減少させる。 (カリキュラム改革関連)
- ② 「全国学力・学習状況調査」における国語・数学 B 問題の平均正答率を、平成 24 年度より、15P 以上向上させる。 (カリキュラム改革関連)
- ③ 家庭学習の習慣化を図り、1 日あたりの学習時間が 1 時間未満の生徒の割合を 1 割未満とする。 (カリキュラム改革関連)

【視点 道徳心・社会性の育成】

- ① 各年度、校内でのいじめの発生件数 0 を目指すとともに、認知した場合、解消に向けて対応している割合を 100% とする。 (マネジメント改革関連)
- ② 不登校の生徒を、毎年、前年度より減少させ、不登校生 0 を目指す。 (マネジメント改革関連)

【視点 健康・体力の保持増進】

- ① 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の各種目の結果を全国平均以上とする。 (カリキュラム改革関連)
- ② 各科検診の中で最も治療勧告者数の多い、歯科・眼科の受診率を 90% 以上とする。 (カリキュラム改革関連)

【視点 教育活動の充実】

- ① 西区内学校選択制が実施される中、3 中学校で最も選択する生徒が多い学校を目指す。 (ガバナンス改革関連)
- ② 授業研究とワークショップ型の研究協議を毎学期実施し、教員の指導力の向上を図る。 (カリキュラム改革関連)
- ③ 特別支援学級在籍生徒の保護者アンケートで、特別支援教育の満足度が 5 段階の平均 4 以上とする。 (カリキュラム改革関連)
- ④ 学校協議会と密接に連携を図るとともに、学校元気アップ地域本部を活用し、学校教育の活性化を図る。 (学校サポート改革関連)

2. 中期目標の達成に向けた年度目標

【視点 学力の向上】

- ① 「全国学力・学習状況調査」における国語科・数学科の無解答率を平成25年度より5P減少させる。 (カリキュラム改革関連)
- ② 「全国学力・学習状況調査」における国語科・数学科の平均正答率を、平成25年度より5ポイント向上させる。 (カリキュラム改革関連)
- ③ 本年度の本校アンケート調査において、家庭学習1時間未満の生徒の割合を、前年度(33.6%)から半減させる。(カリキュラム改革関連)

【視点 道徳心・社会性の育成】

- ① 校内でのいじめ発生件数・暴力行為の発生件数を前年度より減少させる。 (マネジメント改革関連)
- ② 不登校生数：前年度より減少させる。 (マネジメント改革関連)

【視点 健康・体力の保持増進】

- ① 平成26年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における合計得点を、前年度より2P向上させる。 (カリキュラム改革関連)
- ② 治療勧告後の受診率を50%以上にする。 (カリキュラム改革関連)

【視点 教育活動の充実】

- ① ホームページの更新回数を前年度より1割増とし、西中学校の情報発信を推進する。 (ガバナンス改革関連)
- ② 研究授業・研究協議の回数を前年度より1割増加させる。 (カリキュラム改革関連)
- ③ 特別支援教育に関する学校・教育委員会への苦情件数0を目指すとともに、苦情を受けた場合、対応して解決する割合を100%とする。 (カリキュラム改革関連)
- ④ 学校ボランティアの数を1割増、学校元気アップの補充学習用と家庭学習用の教材の充実を図る。 (学校サポート改革関連)

3. 本年度の自己評価結果の総括

全体を通して、落ち着いた状態で安定した教育活動を積み重ねることができた。各学校行事も生徒が主体的かつ一生懸命に取り組み、自尊感情の醸成といった観点からも、生徒を大きく成長させる充実したものとなっている。この点が今年度の一番の成果と言える。

しかしながら、学力向上の観点でみると、全国学力・学習状況調査の結果は、年度目標を達成することはできており、家庭での学習時間が1時間未満の生徒も44.5%にものぼり、中期目標としている1割未満といまだ大きく隔たりがあるなど、依然として課題がある。

道徳心・社会性の育成の観点では、道徳の授業が計画に沿ってきちんと実践されており、いじめの認知件数をみても、学年があがるごとに減少するなど、学級

集団・学年集団づくりと相まって、成果が見られる。

健康・体力の保持増進の観点では、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果は、前年度とほぼ横ばいの結果であったが、運動部の活性化が図られており、中でも、野球部が大阪市の大会や近畿六都市大会で優勝するなど顕著な成績を残した。

また、歯科検診を年間2回実施するなど、健康教育を推進した結果、治療率が大幅に増加するなど、生徒の健康管理の面でも成果をあげている。

教育活動の充実の観点では、学校ホームページの閲覧数が大阪市でもトップクラスを維持しており、情報発信の観点から大きな成果をあげている。また、学校元気アップ事業が活性化しており、多様な取り組みを展開している。中でも、英語検定では准2級合格者を輩出するなど、顕著な成果が見られる。

大阪市立西中学校 平成 26 年度 運営に関する計画（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点 学力の向上】</p> <p>① 本年度の「全国学力・学習状況調査」における国語科・数学科の無解答率を平成 25 年度より 5 ポイント減少させる。(カリキュラム改革関連)</p> <p>② 本年度の「全国学力・学習状況調査」における国語科・数学科の平均正答率を、平成 25 年度より 5 ポイント向上させる。</p> <p style="text-align: right;">(カリキュラム改革関連)</p> <p>③ 全国学力学習状況調査における読書時間と家庭学習 1 時間未満の生徒の割合を平成 25 年度よりも減少させる。</p> <p style="text-align: right;">(カリキュラム改革関連)</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<ul style="list-style-type: none"> ・数学において、全授業、習熟度別少人数授業に取り組む。国語科・英語科については、単元内容に合わせて習熟度別少人数授業を行う。 <p style="text-align: center;">(カリキュラム改革関連) (グローバル改革関連)</p>	B
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内アンケートにおける「教科の授業の内容はよくわかりますか」の項目において、肯定的回答を 50 %以上とする。 	
<p>取組内容②【自主学習習慣の確立】【学校・家庭・地域との連携の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校元気アップ地域本部の取組として、学生ボランティア等の協力により補充学習を実施し、生徒の自主学習の支援を行うとともに、家庭学習の習慣化を図る。特に本年度はビデオ教材を作成し、生徒の補充学習に活用する。 <p style="text-align: center;">(カリキュラム改革関連) (学校サポート改革関連)</p>	A
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補充学習の参加者を前年度の 2 割増とする。 	
<p>取組内容③【読書習慣の確立と言語力の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ボランティアの読み聞かせや、図書館オリエンテーション、図書委員会、国語科と連携し、読書習慣を身に付けさせる。全国調査においても、前年度を上回ることを目指す。 <p style="text-align: center;">(カリキュラム改革関連) (マネジメント改革関連)</p>	A

<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査や図書館アンケートなどで読書への意欲・関心・態度の肯定的回答（「読書は好きか」「学校図書館や地域の図書館にどれぐらい行くか」）を向上させる。 	
<p>取組内容④【学校元気アップ地域本部事業の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校ボランティアの増加を図るとともに、ボランティアを活用した学習活動等の充実を図る。（カリキュラム改革関連）（学校サポート改革関連） 	A
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校ボランティアの数の1割増、学校元気アップの補充学習用と家庭学習用の教材の2割増。 	

年度目標の達成状況や取り組みの進捗状況の結果と分析	
<p>◎年度目標の達成状況</p> <p>【視点 学力の向上】</p> <p>① 無解答率を5ポイント減少させることを目標に設定したが、国語A・B、数学Aでは、昨年度とほぼ同率であった。数学Bにおいては、7.8ポイント減少しており、成果が見られる。</p> <p>② 平均正答率についても、国語A・B、数学Aでは、昨年度とほぼ横ばいの結果であった。数学Bにおいては、17.2ポイントも向上しており、（全国平均も8.3ポイント上がってはいるが）、習熟度別少人数授業の成果が現れている。</p> <p>③ 読書が好きと肯定的な回答をした生徒は、昨年度より14.3ポイント増加しているが、平日に読書を全くしないと回答した生徒が54.7%もあり、この率は昨年度とほぼ変わらない。</p> <p>家庭学習1時間未満の生徒の割合は、44.5%おり昨年度と大きな変化はない。依然として家庭学習の定着、習慣化が大きな課題である。</p>	
<p>○取り組みの進捗状況</p> <p>取組内容①【習熟度別授業の充実等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数学科では、全授業で習熟度別少人数授業を開催し、数学Bの成績向上など成果が得られた。国語科、英語科では、単元や時期に合わせ、授業方法の工夫・改善を進めている。英語科においてはC-NETの活用が図られ、生徒が意欲を持って授業に取り組んでいる。 ・「教科の授業がよくわかるか」の問い合わせに、国語では82.9%、数学で56.4%の生徒が肯定的な回答をしており、指標はクリアしている。 <p>取組内容②【自主学習習慣の確立】【学校・家庭・地域との連携の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校元気アップ事業が活性化しており、参加したことがあると答えた生徒が、1年生で63%（昨年度から+15%）、2年生で62%（昨年度から+14%）と、参加者が増加し 	

ている。地域人材を活用した英語検定も実施し、のべ 100 名以上の受検者があり、準 2 級合格者も 2 名出すことができた。

取組内容③【 読書習慣の確立と言語力の育成 】

- ・読書が好きと肯定的な回答をした生徒は、昨年度より 14.3 ポイント増加しているが、平日に読書を全くしないと回答した生徒が 54.7% もおり、この率は昨年度とほぼ変わらない。（再掲）

取組内容④【学校元気アップ地域本部事業の充実】

- ・教職員アンケートにおいて、学校元気アップ事業が「生徒の学習習慣の定着や学力向上に効果的か」との問い合わせに、アンケート回答者全員が肯定的な回答をするとともに、「読書の習慣化や言語力の育成」にも、同様の回答をしている。
- ・地域の人材を活用し、英語検定、プログラミング学習、防災検定等に取り組み、資格取得する生徒が出るなど、成果が上がっている。
- ・家庭学習用のビデオ教材の作成も、順調に進捗している。

次年度への改善点

- ・学力の向上に向けて、各教員の授業力・指導力の向上を図っていく。そのため、授業研究を伴う校内研修のさらなる充実を図る。また、ICT を活用した授業にも取り組んでいく。
- ・家庭学習習慣の定着、読書習慣の形成に向けて、家庭・地域との連携のもと、取り組みの充実を図っていく。
- ・これまでの効果的な取り組みを継続し、内容の充実を図っていく。

大阪市立西中学校 平成 26 年度 運営に関する計画（目標別シート）

年度目標	達成状況
<p>【視点 道徳心・社会性の育成】</p> <p>①校内でのいじめ認知件数、暴力行為の発生件数を前年度より減少させる。 (マネジメント改革関連)</p> <p>②不登校生数を前年度より減少させる。 (マネジメント改革関連)</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【道徳教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活委員会を中心に朝のあいさつ運動を実施し、自ら進んであいさつをする生徒を育成する。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 朝のあいさつ運動を毎日実施する。生活委員会で月 1 回の振り返りを行い、全校生徒にフィードバックする。 	B
<p>取組内容② 【道徳教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 道徳教材（副読本等）を活用した道徳教育の充実を図るとともに、集会等を通して道徳心や社会性を育成する。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導内容を精選・工夫し、計画的に道徳教育を実施する。 全校集会や学年集会を定期的に行い、機に応じた指導を行う。 	A
<p>取組内容③ 【不登校への対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> 不登校生徒の態様に合わせた働きかけを継続的に実施する。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活指導部を中心として、月 1 回のケース検討を実施する。 	B
<p>取組内容④ 【不登校への対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> 遅刻した生徒に対し担任を中心に働きかけ、時間を守ることを指導する。 生活委員や生徒会等で振り返り、必要に応じて全校生徒にフィードバックする。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 遅刻する生徒数を減少させる。 	B

年度目標の達成状況や取り組みの進捗状況の結果と分析

◎年度目標の達成状況

【視点 道徳心・社会性の育成】

- ① いじめの認知件数、暴力行為の発生件数は、いずれも前年度とほぼ同数であり、大きな変化はない。

学期ごとに「いじめ調査」を実施し、実態の把握に努めた。些細ないやがらせやからかいを訴える生徒は若干存在するが、すでに指導・解決済みであり、各学年、学級で進める集団づくりの成果が見られる。

学校全体として、大変落ち着いた状況で安定した教育活動が実践されており、目標は達成したと言える。

- ② 不登校生徒については、平成25年度28名 → 平成26年度18名と10名減少し、前年度より減少させるという年度目標は達成した。しかし、家庭訪問や関係諸機関、SCとの連携を含め、その生徒に応じた指導を継続しているが、改善に至らないケースも多い。

○取り組みの進捗状況

取組内容①【道徳教育の推進】

- 定期的に、生徒会を中心として「あいさつ運動」を実施した。教職員からのあいさつに、あいさつを返せる生徒がほとんどであるが、自分から先にあいさつのできる生徒はまだ少なく、課題である。

取組内容②【道徳教育の推進】

- 年間指導計画に基づいた実践が行われており、成果があがっている。道徳教育に関する研修も実施し、教職員の意識も高い。

取組内容③【不登校への対応】

- 月1回、不登校生徒についての情報交換を実施するとともに、各担任を中心として、家庭訪問やSC、関係諸機関との連携を含め、その生徒に応じた指導を継続している。

取組内容④【不登校への対応】

- 「時間を守る」指導を継続しているが、遅刻する生徒が減少したとは言えず、課題が残る。

次年度への改善点

- 来年度も「時間を守ろう、あいさつをしよう、学校を美しくしよう」を3つのスローガンとして、継続して取り組みを進める。
- 不登校生徒について、中期目標の達成(不登校生徒0)に向けて、取り組みの強化を図る。
- 道徳教育について、さらに充実を図っていく。

大阪市立西中学校 平成 26 年度 運営に関する計画（目標別シート）

年度目標	達成状況
<p>【視点 健康・体力の保持増進】</p> <p>①平成 26 年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における合計得点を、前年度よりも 2 ポイント向上させる。 ②治療勧告後の受診率を 50%以上にする。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【体育科の授業の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> 女子の「上体起こし」を、あと 2 ポイント向上、男子は「長座体前屈」を 2 ポイント向上させるために、補強運動や柔軟運動を取り入れる。 	B
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 保健体育科の年間指導計画に位置付け、年間 2 回記録をとる。 	
<p>取組内容② 【体育的活動の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> 体育大会に加え、各学年で球技大会等を実施する。 	A
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学年で 4 時間以上の取り組みを実施する。 	
<p>取組内容③ 【健康な生活習慣の確立】</p> <ul style="list-style-type: none"> 繰り返し治療勧告を行い、受診率を前年度より向上させる。 「ほけんだより」等を通じて病気やけがの防止について啓発運動等を行うとともに、毎月の受診内容を知らせる。 保健委員会の活動を活発に行い、健康意識の向上をはかる。 	A
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ほけんだより」を毎月発行する。 学期末懇談ごとに治療勧告を行い、昨年度より受診率を向上させる。 	

年度目標の達成状況や取り組みの進捗状況の結果と分析
◎年度目標の達成状況
【視点 健康・体力の保持増進】
①全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果 〔男子〕平成 25 年度 40.59 → 平成 26 年度 39.71

〔女子〕平成 25 年度 50.22 → 平成 26 年度 46.63

- ・残念ながら、男子・女子とも昨年度の結果を下回り、目標は達成できなかった。

②治療勧告後の受診率

- ・〔歯科〕平成 25 年度 35% → 平成 26 年度 60%
- ・歯科校医や養護教諭の尽力により、受診率が大幅に向上し、目標を大きく上回った。

○取り組みの進捗状況

取組内容①【体育科の授業の充実】

- ・女子の上体起こしについては、平成 25 年度 21.87 → 平成 26 年度 23.18 と 1.31P 向上しており、目標には到達しなかったものの、成果が見られる。
- ・男子の長座体前屈については、平成 25 年度 41.57 → 平成 26 年度 36.84 と 4.73P 下がっている。

取組内容②【体育的活動の充実】

- ・体育大会が充実したものになるとともに、各学年とも生徒の実態に応じた体育的行事を実施しており、成果があがっている。
- ・野球部が大阪市秋季総合体育大会、近畿六都市大会で優勝するなど、めざましい活躍を上げた。その他の運動部も着実に力を付けてきている。

取組内容③【健康な生活習慣の確立】

※別冊「学校保健のまとめ」参照

- ・他校の範となる実践がなされている。

次年度への改善点

- ・引き続き、体育科の授業の充実を図るとともに、運動部の活動を活性化させ、生徒の体力の向上を図っていく。
- ・学校保健については、成果があがっているので後退させることのないよう、実践を積み重ねていく。

大阪市立西中学校 平成 26 年度 運営に関する計画（目標別シート）

年度目標	達成状況
<p>【視点 教育活動の充実】</p> <p>① ホームページの更新回数を前年度より 1 割増とし、西中学校の情報発信を推進する。 (ガバナンス改革関連)</p> <p>② 研究授業・研究協議の回数を前年度より 1 割増加させる。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>③ 特別支援教育に関する学校・教育委員会への苦情件数 0 を目指すとともに、苦情を受けた場合、対応して解決する割合を 100%とする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>④ 学校ボランティアの数の 1 割増、学校元気アップの補充学習の時間を 1 割増とする。 (学校サポート改革関連)</p>	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【学校評価の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者メールによる案内と学校ホームページの充実を図り、学校からの情報発信に努める。特に、本校の特色ある取組や魅力について積極的に発信する。 (ガバナンス改革関連) <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> アクセス件数を平成 25 年度（16000 件）より 1 割増とする。 	A
<p>取組内容② 【各種研究・研修の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教員の指導力の向上に向け、研究授業・研究協議の充実を図る。 (マネジメント改革関連) <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 経験 10 年未満での若手教員育成研修会を年 3 回実施する。 	A
<p>取組内容③ 【特別支援教育の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別支援学級在籍生徒の「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」を保護者参画のうえ、作成する。 (カリキュラム改革関連) <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」を 100%作成する。 毎日、保護者との連携を図る。 	B

<p>取組内容④【教育活動のための時間の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校ボランティアの増加を図るとともに、ボランティアを活用した補充学習の充実を図る。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校元気アップの補充学習用と家庭学習用の教材の充実を図るため、学校ボランティアの数を1割増加させる。 	<p>(学校サポート改革関連)</p> <p>A</p>
--	------------------------------

年度目標の達成状況や取り組みの進捗状況の結果と分析	
<p>◎年度目標の達成状況</p> <p>①ホームページの更新</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度(3/16現在) 46,000以上の閲覧があり、大阪市の内でもトップクラスの閲覧者数を得ており、学校ホームページとしての役割を十分に發揮している。 <p>②研究授業・研究協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月に相互授業参観期間を設け、全員が授業研究に取り組んだが、十分な取り組みとまでは言えない。 ・若手教員を中心として、自主的に道徳教育の研修会を実施した。 <p>③特別支援教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」に基づき、きめ細やかな教育実践が行われた。 <p>④学校ボランティア・学校元気アップ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補充学習・図書館開放・英語検定・プログラミング教室・防災検定・部活動支援等多様な取り組みを展開しており、それに関わってくれるボランティアも昨年度より増加するとともに、7割以上の生徒が何らかの取り組みに参加している。 	
<p>○取り組みの進捗状況</p> <p>取組内容①【学校評価の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほぼ毎日ホームページを更新し、学校の情報発信に努めている。昨年度の16,000アクセスから、今年度は、ほぼ3倍増のアクセスがある。 <p>取組内容②【各種研究・研修の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若手教員を中心として、研究授業を行い、授業力・指導力の向上を図った。 <p>取組内容③【特別支援教育の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在籍生徒全員の「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」を作成し、それに基づいて、保護者との連携のもと、日々の教育活動の充実が図られた。 <p>取組内容④【教育活動のための時間の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校元気アップ事業が活性化しており、多様な取り組みを展開している。英語検定では、地元住民のボランティアの協力を得て取り組みを進め、准2級合格者を2名出すなど、目に見える成果があがっている。 	

次年度への改善点

- ・すべての項目について、中期目標達成に向けて、着実な実践が積み重ねられている。
次年度についても、さらに充実したものとなるよう取り組みを進める。
- ・学校選択制が実施されてから、他の校区からの入学者はまだいない。新標準服も含め、西中学校の良い点をさらに情報発信していく。